

期限内の合併はできるのか

合意形成が大事である



宮本 昭一 議員

町長は、去る3月29日

志布志市に出向き、市長に面会しているが、その目的は何か。また、志布志市長の対応はどうだったか。

相手の立場を尊重し

慎重に対応

町長 アンケート調査に至った経緯と調査の内容と結果報告をした。

志布志市長は、「市全体のコンセンサスが極めて重要な時期であるが、大崎町の意向は理解できた」とのことであった。

私としても相手の立場を尊重し、慎重に対応していきたい。

合併に向けての真意はどうか

宮本議員

合併問題については、町長が3月議会で答弁し、2ヶ月余り経過しているが、合併実現に向けての計画が示されていない。町長の真意はどうか。

新特例法の期限内で

町長

合併新法の期限である平成22年3月末までに、志布志市との合併を推進することを明言しているので努力していく。合併問題は、本町に

とって、重要かつ重大な問題であり、住民の意向を大切にし、新しく構成された議員との合意がはかられるよう努力する。

住民に対する説明会はしないのか

宮本議員

合併問題に対する住民の不信・不安を払拭するため、住民に対する説明と合意形成が大事である。住民説明会を実施すべきではないか。

執行部と議会が一体となって実施

町長

住民説明会は、当然やるべきである。一定の結果が見いだされた後に進めていく。

合併準備委員会の設置の考えはないか

宮本議員

合併問題について、本町が不利益にならないよう合併準備委員会を設置し、町づくり計画や組織機構を含めて検討すべきではないか。

まだそういう状況ではない

町長

現段階では、まだそういう状況にはないと判断している。議会との揺るぎない合意形成がはかられ体制が整っていることが、町の内外に知らせることが、大切なことだと思う。

農業機械の更新 どう考えているか

宮本議員

本町における機械センターは、農家の高齢化や



老朽化の著しい農業機械センター

利用者の機械購入のコスト低減など、大変大きな役割を持っている。特に利用の多い梱包機については、稼働率からみて更新する時期ではないか。

前向きに検討する

町長

農業機械の更新については、耐用年数や稼働率等を参考にして行っているため、梱包機について

機械センター事務所の改築の考えはないのか

宮本議員

機械センターは、昭和39年に建設され、事務所等が老朽化している。事務所の改築の考えはないか。

隣接するJAのものを活用

町長

隣接するJAの倉庫と管理事務所を借りて活用することで、事務所改築は行わず、移転する方向で検討中である。